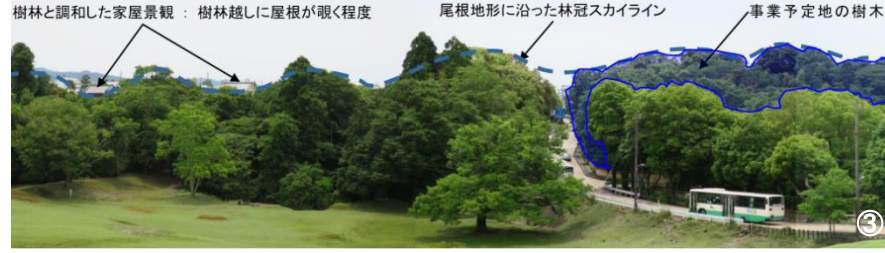


# 2. 植栽・景観の分析・評価

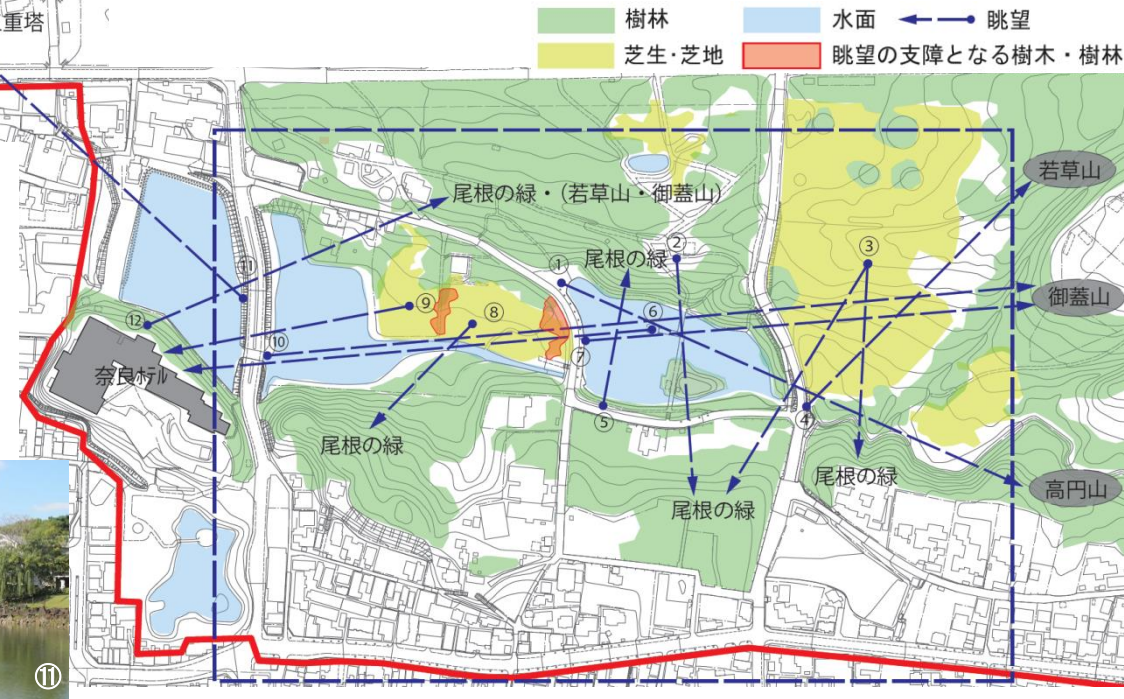
## (5) 眺望景観

### 1) 主な眺望景観



- 特に重要な眺望景観
- ① 鷺池から浮見堂・高円山
  - ⑦ 鷺池から浮見堂・御蓋山
  - ⑩ 荒池から御蓋山
  - ⑪ 荒池から五重塔

出典：奈良らしい眺望景観 H23年  
(奈良市眺望景観保全活用計画)



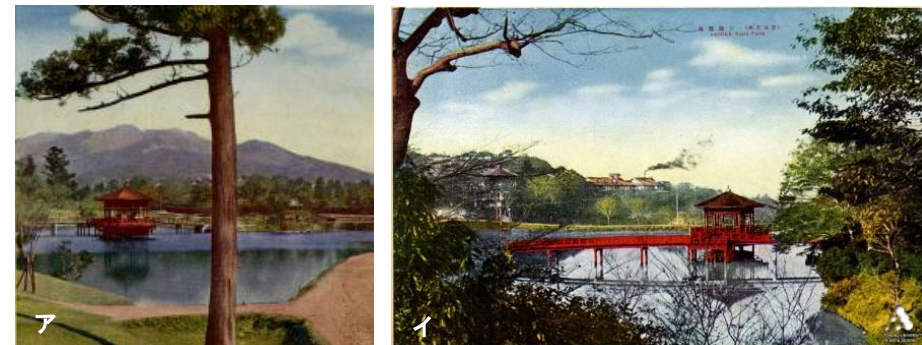


## (5) 眺望景観

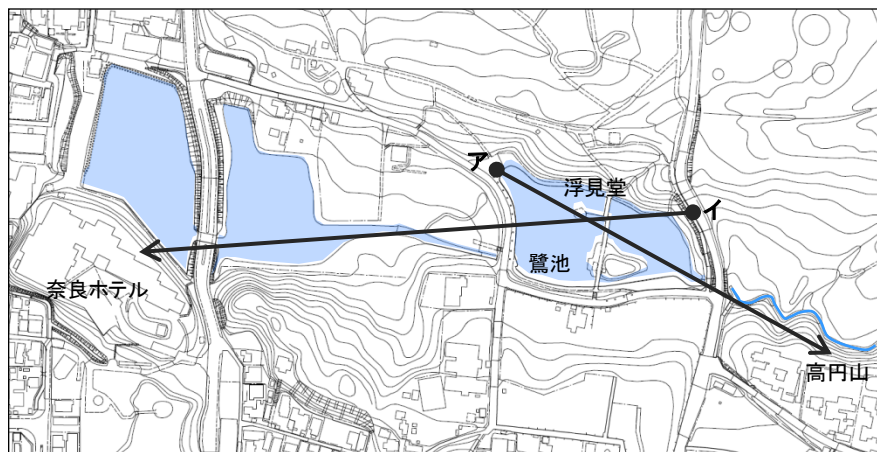
### 特性-6 眺望景観

- ・検討範囲は、率川水系を挟んだ両側の尾根と中央の谷が、互いに視点場であり視対象である一体性のある景観が特徴である。
- ・谷は視線を遮らない池や芝地が多いため谷筋方向の眺望が良好で、重要な眺望景観には鷺池、浮見堂、奈良ホテル、御蓋山、高円山等の主要な視対象が折り重なっている。(浮見堂はこれを意識して配置された可能性がある。)

### 2) 大正期の眺望景観



ア、イ 絵葉書 大正・昭和初期



### 3) 眺望のため保全・改善すべき植栽

#### A. 眺望景観のため保全すべき樹林・樹木

- ・眺望の視対象となる尾根の斜面樹林
- ・建築物や往来する車両を遮蔽する樹林・樹木

眺望景観のため保全すべき樹林・樹木

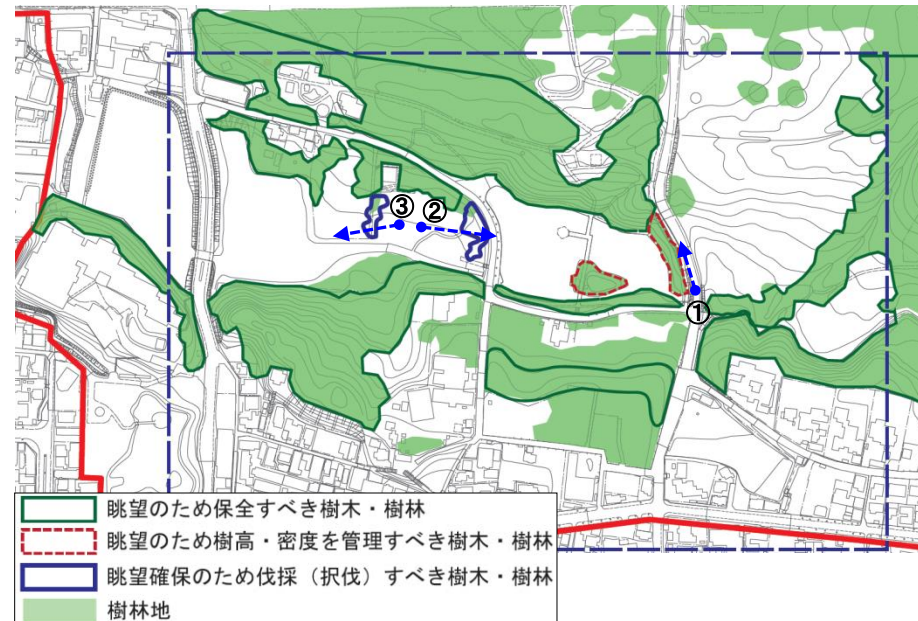
眺望景観のため樹高・密度を管理すべき樹林・樹木

A・B重複の場合

#### B. 眺望景観のため改善すべき樹林・樹木

- ・眺望の視線を遮る樹林・樹木

眺望景観のため択伐すべき樹林・樹木



① 車両を遮蔽するが眺望に支障

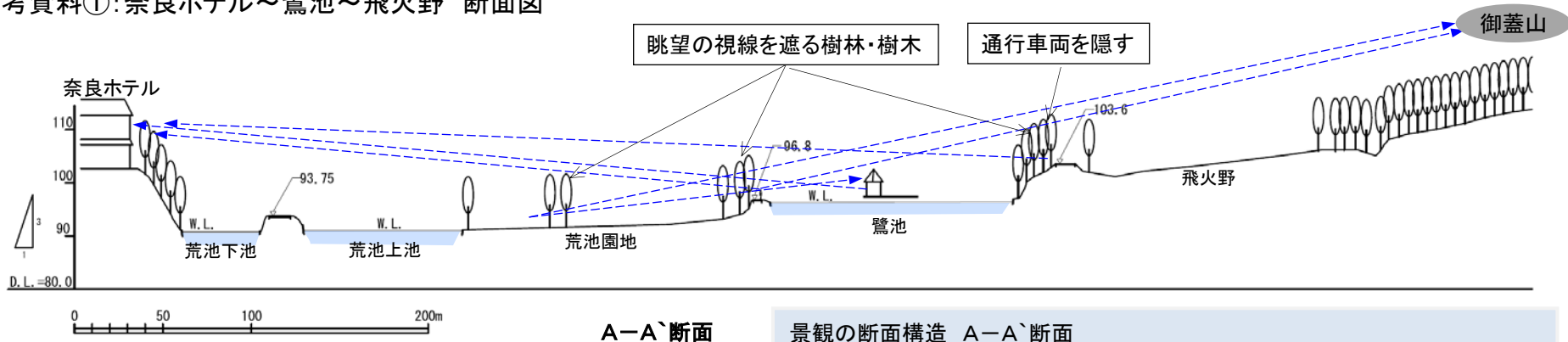
② 浮見堂や御蓋山を遮蔽

③ 奈良ホテルを遮蔽

## 2. 植栽・景観の分析・評価

### (5) 眺望景観(参考資料)

#### 参考資料①: 奈良ホテル～鷺池～飛火野 断面図



#### 景観の断面構造 A-A'断面

- ・遮る樹木がなければ、荒池園地と鷺池の堤からは、御蓋山が見える高さ関係にある。
- ・遮る樹木がなければ、浮見堂と鷺池の堤からは、奈良ホテルが見える高さ関係にある
- ・鷺池東の樹木は眺望の視線を遮るが、通行車両を隠す効果もある。

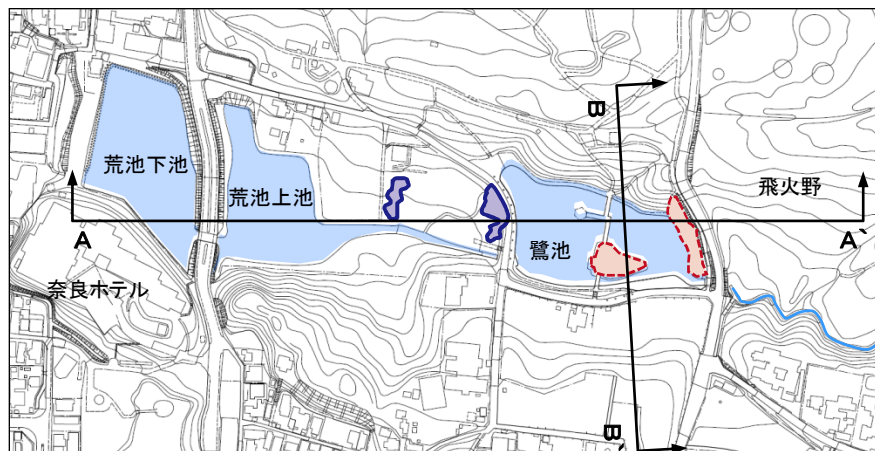
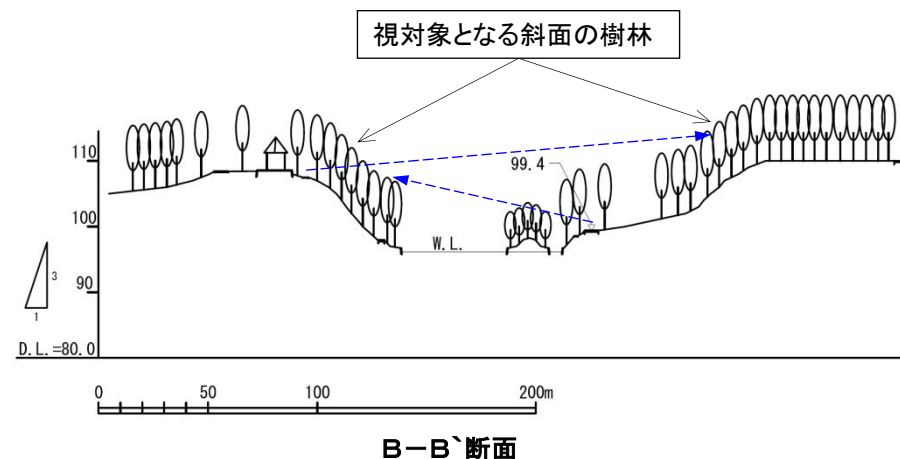


図: 断面位置

#### 参考資料②: 円窓亭～高畑裁判所跡地 断面図



#### 景観の断面構造 B-B'断面

- ・率川水系(鷺池、荒池含む)を挟む谷地形であるため、視対象として斜面地の樹林が大きな存在となる。

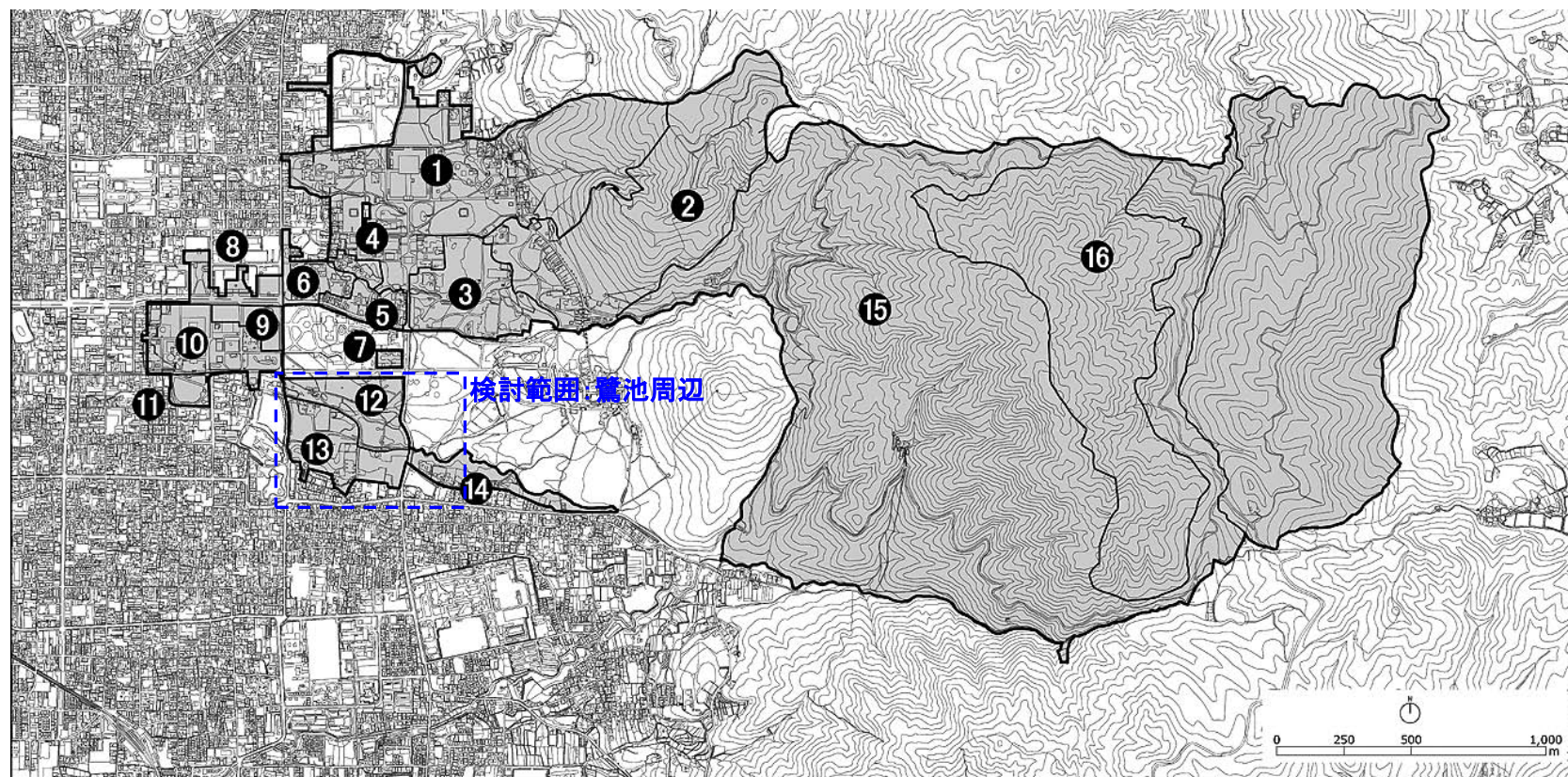


## 2. 植栽・景観の分析・評価

### (6) 上位計画

#### 1) 名勝奈良公園保存管理・活用計画 一名勝指定範囲

区域毎の本質的価値を構成する要素と保存管理・活用の主な考え方



- |                 |                |            |             |
|-----------------|----------------|------------|-------------|
| ① 東大寺境内ゾーン      | ⑤ 氷室神社境内周辺ゾーン  | ⑨ 登大路園地ゾーン | ⑬ 荒池・瑜伽山ゾーン |
| ② 若草山ゾーン        | ⑥ 吉城園周辺ゾーン     | ⑩ 興福寺境内ゾーン | ⑭ 高畑ゾーン     |
| ③ 春日野園地・浮雲園地ゾーン | ⑦ 旧奈良県物産陳列所ゾーン | ⑪ 猿沢池ゾーン   | ⑮ 春日山原始林ゾーン |
| ④ 依水園ゾーン        | ⑧ 県庁周辺ゾーン      | ⑫ 浅茅ヶ原ゾーン  | ⑯ 花山・芳山ゾーン  |

図：区域区分図



# 2. 植栽・景観の分析・評価

## (6) 上位計画

### 1) 名勝奈良公園保存管理・活用計画 - 浅茅ヶ原ゾーン

#### 区域の保存管理・活用の基本方針

名勝指定当初の区域として浅茅ヶ原の園地景観の適切な保全を図るとともに、隣接する荒池園地と一体となった奈良公園の水辺景観を形成する鷺池、浮見堂などの質の高い風致景観の保全を図る。

#### 個別要素の保存管理・活用の主な考え方

##### 自然的要素に関わる考え方

・鷺池および浅茅ヶ原の水系の適切な水環境（水質及び水量、生態系）の保全・再生を図る。

##### 歴史的・文化的要素に関わる考え方

・園地内に所在する文化財に指定される建築物・工作物（旧春日大社板倉・円窓亭）の保存とともに、周辺景観・眺望景観を構成する重要な要素として、その適切な保存を図る。

・地下の埋蔵される遺構（荒池瓦窯跡）は、当地の歴史を伝える要素として現状の保存を図る。

##### 公園的要素に関わる考え方

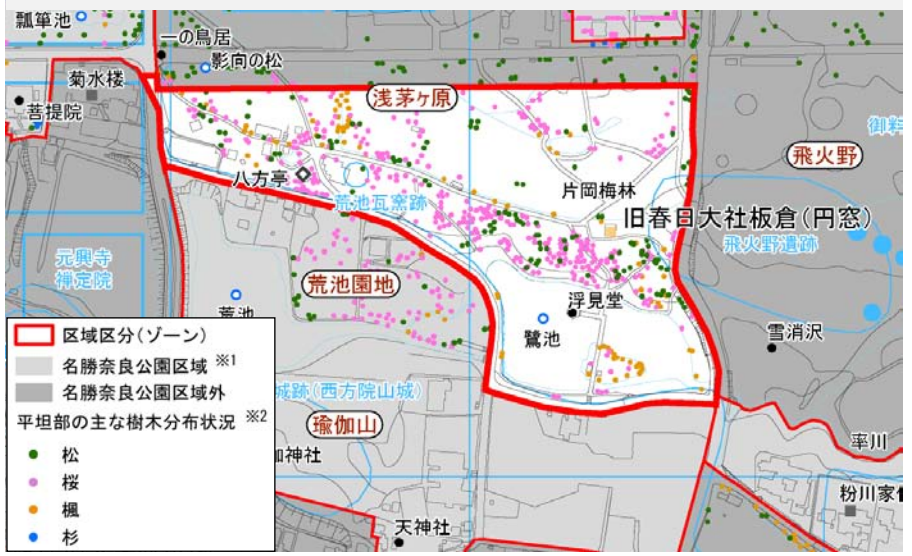
・当地の景観を特徴づける松、桜、杉等及び片岡梅林の梅の植栽樹木の適切な維持管理を図るとともに、公園の風致に配慮した整備・活用を図る。

・浅茅ヶ原の台地地形及び樹林地は、園地景観の重要な構成要素であるとともに、鷺池・荒池を望む水辺景観の背景を構成する景観要素として適切な保全を図る。

・浮見堂および蓬萊橋は、鷺池の水辺景観の重要な構成要素として、適切な維持管理を図る。



#### ゾーン位置及び本質的価値を構成する要素



区分		本質的価値を構成する要素
地形・地割	地形	—
	地割等	○園地（浅茅ヶ原）
水系	流れ	○水路（浅茅ヶ原）
	池	●○鷺池 ●○池（浅茅ヶ原）
植栽・植生	植栽	○園地の植栽樹木（松、桜、楓、杉） ○片岡梅林（梅） ○園地の芝地
	植生	○園地の樹林地
建築物・工作物	建築物	◎指定有形文化財（建造物）およびそれに準ずる建築物 ○浮見堂
	工作物	○園路（蓬萊橋を含む）
遺跡・遺構	埋蔵遺構	◎周知の埋蔵文化財包蔵地（荒池瓦窯跡）
その他本質的価値を構成する要素と密接に関わる要素		◎碑等（片岡梅林の碑等） ◇休憩施設等（八方亭）
関係する法制度等		歴史的風土特別保存地区、第1種風致地区、歴史拠点景観区域（奈良市景観計画）

● 自然的要素 ◎ 歴史的・文化的要素 ○ 公園的要素 ◇ その他要素

# 2. 植栽・景観の分析・評価

## (6) 上位計画

### 1) 名勝奈良公園保存管理・活用計画 - 荒池・瑜伽山ゾーン

#### 区域の保存管理・活用の基本方針

名勝指定当初の区域である瑜伽神社および天神社境内地景観ならびに瑜伽山と一体となる景観形成のための適切な保全を図るとともに、浅茅ヶ原と一体となり奈良公園の水辺景観を形成する荒池一帯の質の高い風致景観の保全を図る。

#### 個別要素の保存管理・活用の主な考え方

##### 自然的要素に関わる考え方

- ・ 瑜伽山一帯は、鷺池・荒池の背景となる風致林として、その地形及び植生の適切な保全を図る。
- ・ 荒池の適切な水環境（水質及び水量、生態系）の保全・再生を図る。

##### 歴史的・文化的要素に関わる考え方

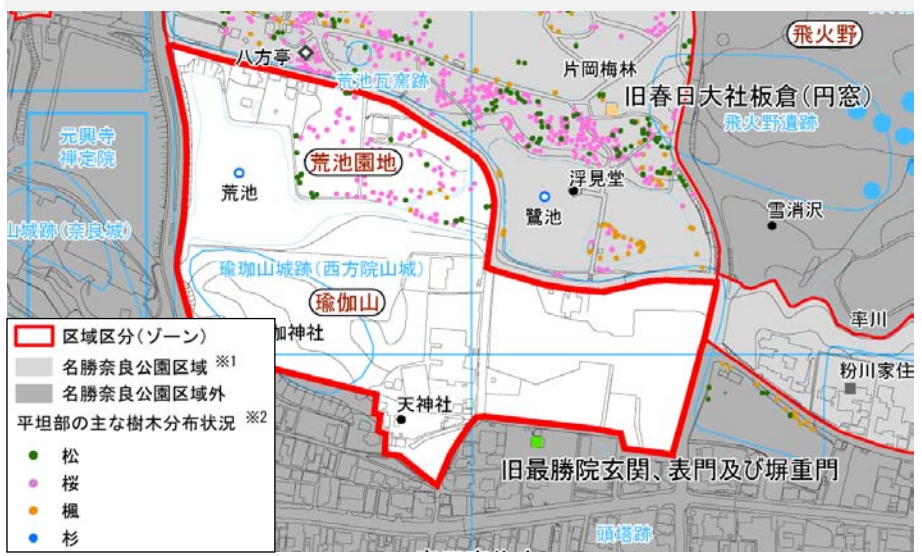
- ・ 瑜伽山の樹林地と一体となる瑜伽神社境内及び天神社境内の景観を保全する。
- ・ 地下に埋蔵される遺構（奈良町遺跡・瑜伽山城跡）やその他の遺構（荒池園地の土堀跡等の表出する組積等）は、当時の歴史を伝える要素として現状の保存を図る。

##### 公園的要素に関わる考え方

- ・ 園地の景観を特徴づける松、桜、柳等の植栽樹木および、芝地の適切な維持管理を図るとともに、公園の風致に配慮した整備・活用を図る。



#### ゾーン位置及び本質的価値を構成する要素



区分		本質的価値を構成する要素
地形・地割	地形	●山地（瑜伽山）
	地割等	◎境内地（瑜伽神社、天神社）○園地（荒池園地）
水系	流れ	○水路（荒池園地）
	池	●○荒池
植栽・植生	植栽	○園地の植栽樹木（松、桜） ○池畔の植栽樹木（柳） ○園地の芝地
	植生	●瑜伽山一帯の樹林
建築物・工作物		◎瑜伽神社参道、天神社参道
遺跡・遺構	礎石等	◎土堀跡
	埋蔵遺構	◎周知の埋蔵文化財包蔵地（奈良町遺跡、瑜伽山城跡）
その他本質的価値を構成する要素と密接に関わる要素		◎碑（万葉歌碑）
関係する法制度等		歴史的風土特別保存地区、第1種風致地区、歴史拠点景観区域（奈良市景観計画）

●自然的要素 ◎:歴史的・文化的要素 ○公園的要素 ◇その他要素



# 2. 植栽・景観の分析・評価

## (6) 上位計画

### 1) 名勝奈良公園保存管理・活用計画 ー高畑ゾーン

#### 区域の保存管理・活用の基本方針

春日大社境内地に隣接し、一体的景観を構成する区域として、境内地との景観の連続性に配慮した風致景観の維持を図る。

#### 個別要素の保存管理・活用の主な考え方

##### 自然的要素に関わる考え方

・春日大社境内地（飛火野）南端部の丘陵地形および水系（率川）、自然植生の保全・再生を図る。

##### 歴史的・文化的要素に関わる考え方

・地下の埋蔵される遺構（奈良町遺跡）は、当地の歴史を伝える要素として現状の保存を図る。

##### その他要素に関わる考え方

・飛火野隣接地となる高畑町の街なみおよび屋敷林は、風致上の緩衝地帯として適切な維持管理を推進する。



区分		本質的価値を構成する要素
地形・地割	地形	●飛火野南端部の丘陵地形
	地割等	—
水系	流れ	●◎率川
	池	—
植栽・植生	植栽	—
	植生	●飛火野の自然植生
建築物・工作物		—
遺跡・遺構	礎石等	—
	埋蔵遺構	◎周知の埋蔵文化財包蔵地（奈良町遺跡）
その他本質的価値を構成する要素と密接に関わる要素		◎粉川家住宅（市登録有形文化財） ◇旧邸宅および屋敷林（高畑町）
関係する法制度等		歴史的風土特別保存地区、第1種風致地区、歴史拠点景観区域（奈良市景観計画）

●自然的要素 ◎:歴史的・文化的要素 ○公園的要素 ◇その他要素

## (6) 上位計画

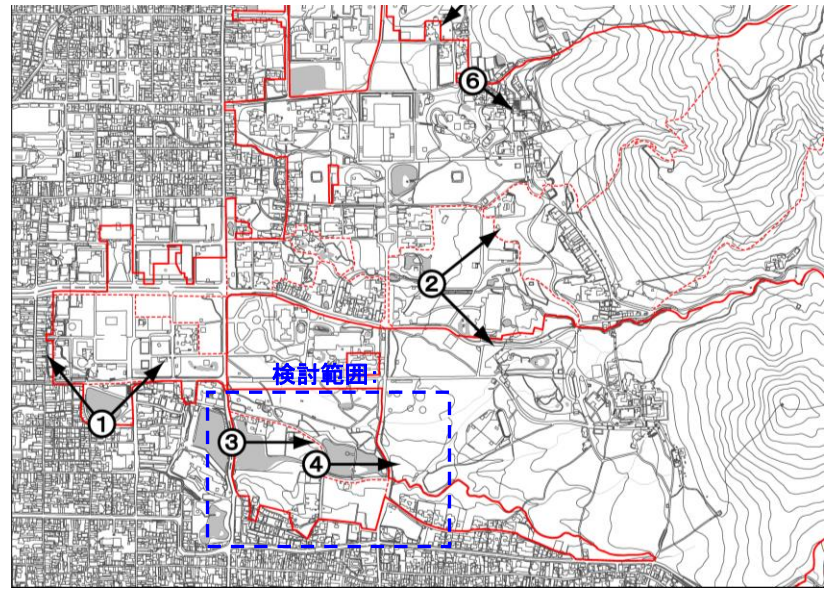
### 1) 名勝奈良公園保存管理・活用計画 ー眺望景観



#### 眺望景観の保存管理・活用の基本方針

複数のゾーン間や名勝指定区域外の周辺地域との繋がりにより構築される眺望景観の視点場ー視対象の関係をふまえ、眺望景観を構成する要素の適切な保存管理を図る。

#### 眺望景観の保存管理・活用の主な考え方

- ・名勝奈良公園の眺望景観を形成する視点場及び近景、中景、遠景の視対象となる構成要素の保全を図る。
- ・眺望景観の広がりをもふまえ、複数のゾーン間および名勝指定区域外の周辺地域との連続性、調和を重視し、名勝奈良公園の眺望景観の一体性の保持に努める。
- ・眺望景観を妨げる恐れのある要因（建築物や工作物、広告物、公園施設等）の規制・誘導等適切な対応を図ることで、一体的な景観の形成に寄与する整備活用を推進する。
- ・名勝指定区域境界部においては、区域外を視点場とする眺望景観への影響に配慮し、構成要素の適切な保全を図る。



眺望景観	視点場	視対象		
		近景	中景	遠景
 <p>③荒池から御蓋山の眺望景観 荒池及び園地の芝地の後方に浅茅ヶ原・瑜伽山の樹林地が広がり、背景には御蓋山、春日山が連なる奥行きのある水辺景観が形成されている。</p>	荒池池畔	荒池の水面	池畔の樹木(柳) 護岸 園地の芝地 樹林地(浅茅ヶ原、 瑜伽山)	御蓋山 春日山
 <p>④鷺池から御蓋山の眺望景観 鷺池に浮かぶ浮見堂の後方に浅茅ヶ原の樹林地、さらに背景に御蓋山、春日山が一体となる水辺景観が形成されている。</p>	春日野園地	鷺池の水面 浮見堂	護岸 樹林地(浅茅ヶ 原)	御蓋山 春日山



# 2. 植栽・景観の分析・評価

## (6) 上位計画

### 2) 奈良公園植栽計画－公園全体の植栽方針(抜粋)

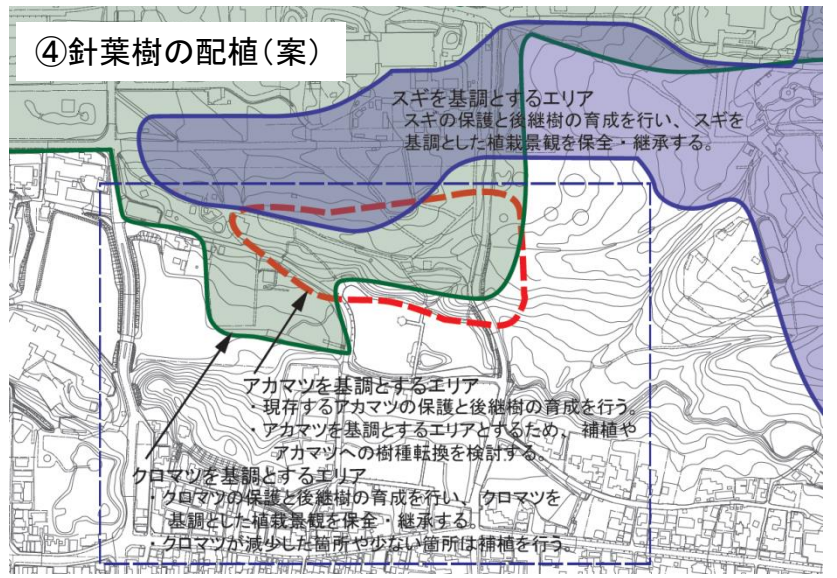
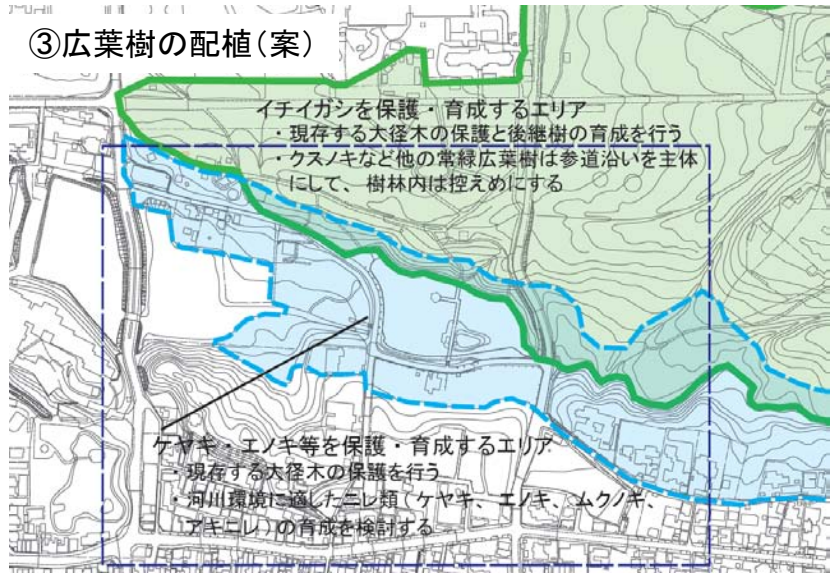
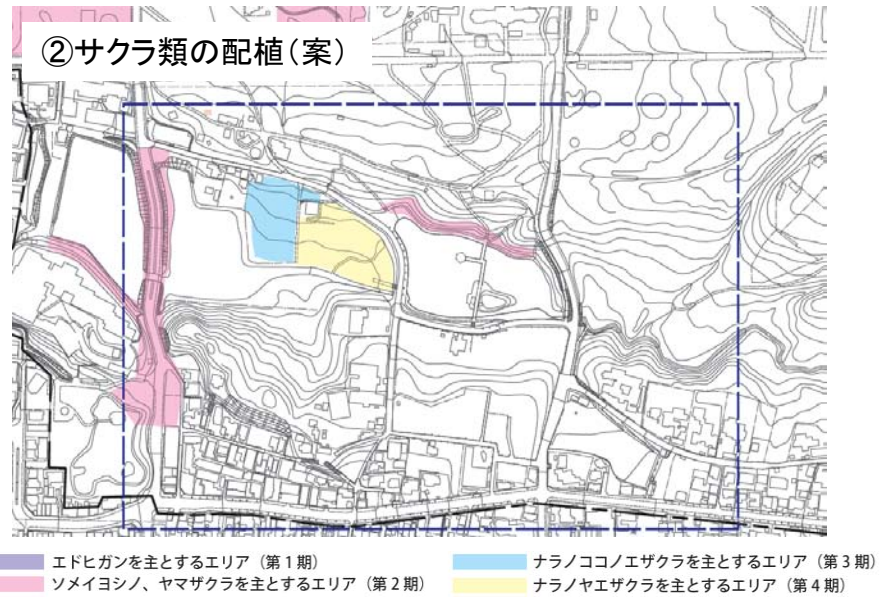
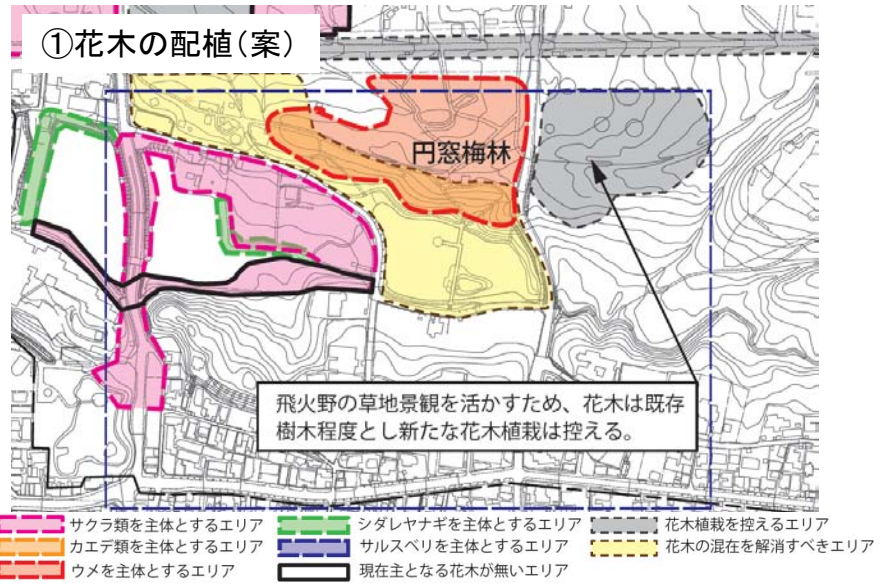
	主な内容
方針-1 基本的な考え方	公園開設当初から受け継がれている基本的な考え方を踏襲する。 ○古来より継承されている樹林・樹木を保全し、自然の地勢に 従った植栽とする。 ○植栽地の特性にあわせてマツ、スギ、サクラ、カエデを植栽し、 これを基調とする。
方針-2 植栽樹種	植栽樹種は、幽邃閑雅で表現される格調高い奈良公園の自然環 境を育ててきた古来の樹種に限定する。
方針-3 ナンキン ハゼ	ナンキンハゼは自然環境の保全に支障を来す恐れのあることから、 原則として駆除する。
方針-7 花木類の 配植	花木類は、奈良公園の歴史文化や景観との調和を図り、公園の魅 力をアピールする配植とする。 ○配植方針 ①歴史文化的に重要な花木類を保全・継承する。 ②景観的に重要な花木類を保全・継承する。 ○各ゾーンの植栽計画において配慮すべき事項 ③マツやスギ、芝地等の花木類の背景となる植栽と調和した配 植とする。 ④立地や他の植栽との関わりから花木類の魅力が引き出せない 場合は、花木植栽を控える。 ⑤開花期の他に新緑期、紅葉期、落葉期の景観に配慮した配植 とする。

	主な内容
方針-8 サクラ類 の配植	サクラ類は、既存の樹種・品種を基本に開花期の違いを活かした配植 とする。
方針-9 常緑・落 葉広葉樹 の配植	常緑・落葉広葉樹は、歴史文化的経緯や自然特性に基づいた配植 とし、植栽地の立地特性や他の植栽との調和に配慮する。 ○配植方針 ①古都に相応しい大径木の保護・育成に配慮した配植とする。 ②歴史文化的経緯や自然特性に由来する大径木の分布傾向を参 考に配植する。 ○各ゾーンの植栽計画・植栽管理計画において配慮すべき事項 ③各植栽地の景観との調和に配慮した植栽とする。
方針-10 針葉樹の 配植	針葉樹は、公園開設当初から受け継がれている基本的な考え方に 基づき配植する。 ○配植方針 ①古都に相応しい大径木の保護・育成に配慮した植栽とする。 ②公園植栽の基調となる針葉樹として、マツ類、スギ、モミを配植 する。 ○各ゾーンの植栽管理計画において配慮すべき事項 ③マツ類は松食い虫対策を確実に実施する。 ④マツ類の松食い虫対策の効果が完全でないことを踏まえて、早 期に補植を実施する。

# 2. 植栽・景観の分析・評価

## (6) 上位計画

### 2) 奈良公園植栽計画－公園全体の植栽方針－配植案



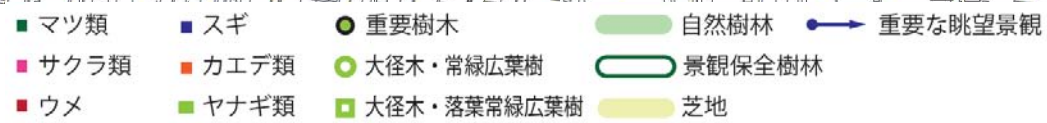
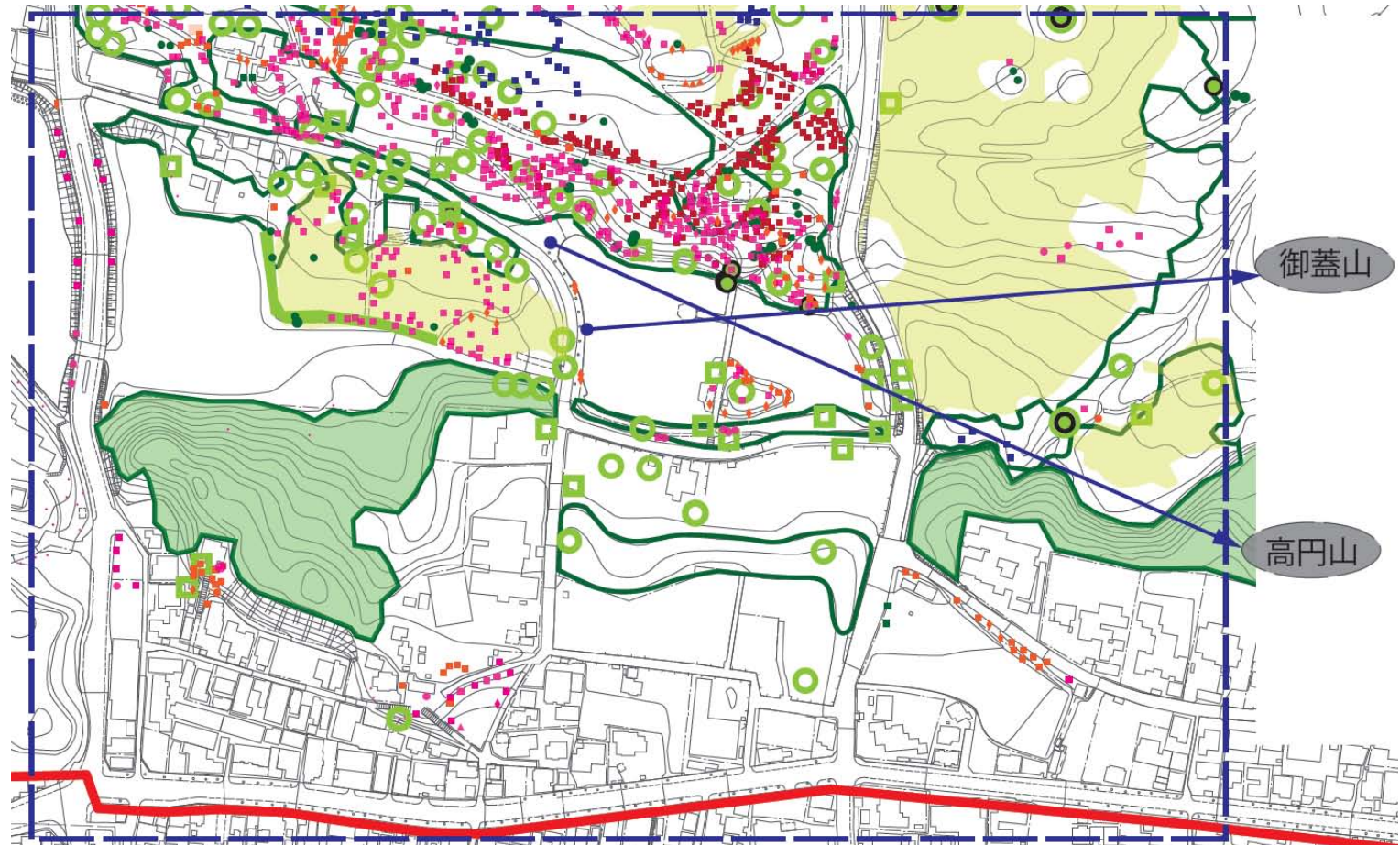


# 2. 植栽・景観の分析・評価

## (7) まとめ

### 1) 保全すべき要素

- 歴史文化的価値のため保全すべき樹林・樹木
  - ・マツ類、スギ、サクラ類、カエデ類、ウメ（片岡梅林）
  - ・重要樹木及びその他大径木
- 自然環境保全のため保全すべき樹林・樹木
  - ・自然林
- 眺望景観のため保全すべき樹林・樹木
  - ・景観保全樹林
  - 重要な眺望景観



## (7) まとめ

### 2) 改善すべき要素

- 自然環境保全のため伐採すべき樹林・樹木  
・ナンキンハゼ
- 眺望景観保全のため択抜・管理すべき樹林・樹木

